

栗石町立小学校適正配置基本計画について

平成25年10月

栗石町教育委員会

目 次

1．基本計画策定に当たり	
（1）基本計画策定の趣旨	1
（2）基本計画策定に向けた背景	1
2．雫石町の現状	
（1）雫石町の人口	2
（2）町立小学校児童数の現状と予測	3
（3）町立小学校施設の現状	4
3．町立小学校適正配置に関する基本方針	
（1）基本的な考え方	5
（2）1学級あたりの人数	5
（3）適正配置の方法	6
（4）適正な小学校数	6
（5）統合に使用する校舎	6
4．適正配置基本計画	
（1）計画期間	7
（2）統合する小学校	7
（3）使用する小学校の校舎	7
（4）配慮すべき事項	8
5．今後の予定	
（1）小学校区ごとの説明会	9
（2）統合準備委員会	9
（3）教育委員会事務局の役割	9
6．その他	
雫石町小学校適正配置検討委員会名簿	10

1. 基本計画策定に当たり

(1) 基本計画策定の趣旨

「児童にとってより良い教育環境とは何か」を基本理念とし、複式学級の解消を目的に町立小学校の適正配置を推進するため、基本計画を策定する。

(2) 基本計画策定に向けた背景

全国的に少子化が進む中であって、雫石町においても例外ではなく、義務教育で学ぶ児童数が大幅に減少してきており、それに伴い1学級あたりの児童数が減少し複式学級を有する小学校が増えるなどいわゆる「小規模化」が進行しております。今後においても、学校区域ごとの出生数等で児童数を推計すると、さらに小規模化が進むことが予測されます。小規模校にもそれぞれの良さがありますが、互いに切磋琢磨する機会が少ない、子どもの立場や役割が固定化する、集団での学習活動に制約を受ける等の課題が挙げられます。やはり、ある程度の人数が存在する規模であれば、集団としての教育活動の範囲が広がり、教育的効果を十分にあげられると考えられます。

このようなことから、学校教育の充実を目指し、児童が集団の中で多様な価値観に触れながら切磋琢磨し、社会性を身につけ、教育水準の維持・向上につながるよう、雫石町における小学校の適正配置の検討を行うため平成24年7月に雫石町小学校適正配置検討委員会を設置し、小学校の適正規模・適正配置に係る基本的な考え方と具体的な方策について検討を行い、平成25年2月に提言を受けました。

2. 雫石町の現状

(1) 雫石町の人口

雫石町の総人口（外国人を含んだ住民基本台帳人口）は、平成11年11月末の20,001人をピークとして減少に転じ、平成25年9月末時点では17,811人となっております。コーホート要因法（表 - 1 のとおり）を用いた人口推計では、平成31年9月末には16,452人となることが推計されています。ただ、当町の「第二次雫石町総合計画」では、子育て支援対策など定住を促す環境整備や、雇用拡大などの人口減少抑制対策を積極的に進めることにより、急激な人口減少に歯止めをかけ、目標年次の平成31年9月末における目標人口を16,800人（表 - 2 のとおり）と設定しております。

表 - 1) コーホート要因法による人口推計（第二次雫石町総合計画より抜粋）（単位：人）

H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
18,449	18,231	18,013	17,794	17,576	17,358	17,131	16,905	16,678	16,452

コーホートとは、同年（または同期間）に出生した集団のことをいい、コーホート要因法とは、その集団ごとの時間変化（出生、死亡、移動）を軸に人口の変化をとらえる推計手法。

表 - 2) 人口の見通し（第二次雫石町総合計画より抜粋）

区 分	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年 (中間年次)	平成 31 年 (目標年次)
総人口	19,371 人	18,449 人	17,500 人	16,800 人
0～14 歳	2,488 人 (12.84%)	2,080 人 (11.27%)	1,900 人 (10.86%)	1,750 人 (10.42%)
15～64 歳	12,041 人 (62.16%)	11,209 人 (60.76%)	10,000 人 (57.14%)	9,050 人 (53.87%)
65 歳以上	4,842 人 (25.00%)	5,160 人 (27.97%)	5,600 人 (32.00%)	6,000 人 (35.71%)

毎年 9 月末現在の人口を記載している。

「中間年次」及び「目標年次」とは、平成 23 年 3 月に策定した「第二次雫石町総合計画」において基準とした中間年次及び目標年次である。

(2) 町立小学校児童数の現状と予測

小学校児童数の見通しは、100人以上の規模の学校が平成24年度時点で3校となっていますが、平成30年度には、雫石小学校のみとなる見込みです。また、複式学級を有する学校も現在の4校から2校増え6校となる見込みで、複式学級数も現在の9学級から12学級に増える見込みとなっています。ちなみに、児童数の予測は現在の出生者をそれぞれの小学校毎に集計したもので、今後の転入及び転出状況は考慮していません。

表-3) 学校別児童数の推移

学校名	年度 学年	平成24年度							平成30年度							
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
雫石小学校	児童数	56	53	59	61	67	53	349	40	40	58	41	58	46	283	
	学級数	2	2	2	2	2	2	12	2	2	2	2	2	2	12	
七ツ森小学校	児童数	10	23	11	27	24	26	121	6	14	10	12	12	15	69	
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	
上長山小学校	児童数	9	4	6	4	6	3	32	4	10	10	7	7	9	47	
	学級数	1	1	1	1	1	1	4	1	1	1	1	1	1	5	
下長山小学校	児童数	8	6	11	8	10	11	54	5	10	10	9	8	8	50	
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	5	
西根小学校	児童数	7	10	8	10	8	14	57	3	8	7	10	4	4	36	
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	4	
御明神小学校	児童数	12	19	18	18	24	18	109	13	11	13	10	13	13	73	
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	
橋場小学校	児童数	3	3	0	1	3	2	12	2	4	3	3	1	3	16	
	学級数	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	3	
大村小学校	児童数	0	1	3	3	0	2	9	4	3	2	1	1	5	16	
	学級数		1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	3	
南畑小学校	児童数	3	3	3	5	8	6	28	5	9	5	8	6	8	41	
	学級数	1	1	1	1	1	1	3	1	1	1	1	1	1	4	
安庭小学校	児童数	14	13	12	9	14	19	81	8	7	15	16	11	10	67	
	学級数	1	1	1	1	1	1	6	1	1	1	1	1	1	6	
計	児童数	122	135	131	146	164	154	852	90	116	133	117	121	121	698	
	学級数	単式		45	複式		9	計	54	単式		42	複式		12	計

は複式学級

(3) 町立小学校施設の現状

校舎・屋体（体育館）の施設は、平成20年に建築された安庭小学校を除き、昭和55年から平成元年にかけて建築された施設で、建築より25～35年程度を経過している状況となっています。

また、昭和56年の新耐震基準以前の設計で建築された御明神小学校及び西根小学校については、耐震診断を行った結果、建物の安全性が確認されています。

表 - 4) 町立小学校建築年等一覧表

学校名	建築年	校舎			屋体		運動場 保有面積	地域 利用	備 考
		構造	階数	保有面積	構造	保有面積			
栗石小	S57.3 S57.11	RC	3	4,747 m ²	RC	960 m ²	7,224 m ²	放課後児童 避難所指定	
七ツ森小	S60.3	RC	2	2,263 m ²	S	762 m ²	11,364 m ²	避難所指定	放課後児童は 別の場所
上長山小	S58.12	RC	2	1,914 m ²	S	754 m ²	11,114 m ²	放課後児童 避難所指定	
下長山小	S62.1	RC	2	2,031 m ²	S	738 m ²	13,096 m ²	避難所指定	放課後児童は 敷地内の別棟
西根小	S56.1	RC	2	2,186 m ²	S	707 m ²	12,868 m ²	放課後児童 避難所指定	
御明神小	S55.3	RC	2	2,442 m ²	S	789 m ²	14,286 m ²	放課後児童 避難所指定	
橋場小	H1.2	RC	2	1,107 m ²	S	710 m ²	11,589 m ²	避難所指定	
大村小	S63.1	RC	2	1,092 m ²	S	710 m ²	10,153 m ²	避難所指定	
南畑小	S60.12	RC	2	2,091 m ²	S	825 m ²	10,842 m ²	放課後児童 避難所指定	
安庭小	H20.1(校舎) S50(屋体)	RC	2	2,352 m ²	S	523 m ²	11,469 m ²	避難所指定	放課後児童は 敷地内の別棟

R C = 鉄筋コンクリート造、S = 鉄骨造、放課後児童 = 放課後児童クラブ

3. 町立小学校適正配置に関する基本方針

(1) 基本的な考え方

当町の小学校適正配置を検討するにあたり、その前提条件として1学級あたりの児童数は35人とします。これは、平成24年9月に文部科学省が、「子どもと正面から向き合うための新たな教職員定数改善計画案(平成25年度～平成29年度の5ヵ年計画)」を策定したことに伴い、近い将来に35人学級が実現するとの見込みから設定したものです。

また、前提条件として「複式学級を解消する」ことを目的として、小学校適正配置の検討を行うこととします。

(結論) 1学級35人で算定する

(2) 1学級あたりの人数

表-5) 学級数別学校規模一覧表

学校規模	過小規模	小規模	統合の場合の適正規模		大規模	過大規模
			適正規模			
学級数	1～5	6～11	12～18	19～24	25～30	31以上

旧文部省助成課資料「これからの学校施設づくり」(昭和59年)

国で示している学校規模は、5学級以下が「過小規模」、6から11学級が「小規模」、12から24学級が「適正規模」、25から30学級が「大規模」、31学級以上が「過大規模」とされています。これを当町に当てはめると、雫石小学校が「適正規模」、七ツ森・下長山・西根・御明神・安庭小学校が「小規模」、上長山・橋場・大村・南畑小学校が「過小規模」となります。ただし、当町は、行政区域面積が広く、人口密度は低い等の特徴があり、国の基準に当てはめるのではなく、雫石町に合致した適正規模を考える必要があり、小規模の学校が複数存在することもやむを得ないと考えます。

当町の各小学校を参考とした場合、複式学級であっても学力的に差は認められないものの、ある程度的人数が揃うことにより、多様な意見に触れることができる、人間関係が固定化されない、団体競技に取り組み易い等、様々なメリットが期待されることから、1学年10人以上の児童がいる規模とすることが必要であると考えます。

(結論) 1学級あたり10人以上とする

(3) 適正配置の方法

学校の適正配置を検討する方法としては、「通学区域(学区)の調整や変更」と「学校の統廃合」の2つが考えられます。「通学区域(学区)の調整や変更」による方法は児童数の減少が見られない学区や大規模校の学区再編などに有効であり、「学校の統廃合」は児童数が減少している学区の再編や複式学級のある過小規模校の適正化の方法として有効とされています。

当町では、少子高齢化の影響で児童数が減少し複式学級を有する過小規模校が多数存在している現状です。加えて、現行の学区は長期間にわたって地域との連携を密にしてきたところであり、行政区が学区の変更によって分割されることのないように配慮する必要があります。

(結論)「学校の統廃合」により適正配置を検討する

(4) 適正な小学校数

「1学級あたり10人以上とする」、「学校の統廃合」との結論より、当町の現状に照らした場合、当町はそれぞれの地区における住民同士の繋がり、現在の雫石中学校が統合前に各地区に中学校があった状況、さらには児童数等の予測から算出される学校毎の人数を参考にとすると、西山地区の上長山小学校、下長山小学校、西根小学校を統合して1つの学校にする、御明神地区の御明神小学校、橋場小学校を統合して1つの学校にする、御所地区の大村小学校、南畑小学校、安庭小学校を統合して1つの学校にすることが最善の策ではないかと考えます。

なお、雫石地区については、雫石小学校と七ツ森小学校がありますが、七ツ森小学校区は雫石中学校が統合された以降に形成された住宅団地等で成り立っており、他地域と比較して住宅団地形成が進んでいること、予測値を参考としても今すぐに複式学級が発生するような状況にないこと等を考慮し、雫石小学校と統合しないこととします。

(結論) 小学校を5校とする

(5) 統合に使用する校舎

いずれの校舎も、耐震診断結果及び耐用年数に問題はないので、既存校舎を活用します。必要があれば増改築で対応することとし、校舎の新築は行いません。将来的に更なる統合となるケースが想定されることも、新築を行わない理由の一つです。

(結論) 既存校舎を活用する

4 . 適正配置基本計画

(1) 計画期間

平成 25 年度から 3 年間とし、平成 28 年 4 月 1 日までに統合する。

(2) 統合する小学校

上長山小学校、下長山小学校、西根小学校を 1 校に統合する。

御明神小学校、橋場小学校を 1 校に統合する。

大村小学校、南畑小学校、安庭小学校を 1 校に統合する。

(3) 使用する小学校の校舎

(西山地区)

西山地区の 3 校については、3 校の規模等に大差がなく、それぞれの学校に長所と短所があることから、判断をするには最も難しい地区でした。

上長山小学校は、建築年度は昭和 58 年度で 3 校の中では中間に位置しています。学校を訪問してみると、全体的に施設が新しい印象で、敷地面積も広く、駐車スペースも十分にありました。ただし、職員室から校庭及び児童昇降口が見えないこと、校舎内に放課後児童クラブがあるため教室が不足していること等の短所があり、さらに岩手山噴火の際に影響を受ける区域に立地していることは、懸念される点です。

西根小学校は、3 校の中では最も中心部に位置しています。ただ、建築年度は昭和 55 年度と最も古い施設であり、学校を訪問してみても、全体的に古い印象を受けました。放課後児童クラブも校舎内に存在し、教室が不足しておりました。

下長山小学校は、建築年度は昭和 61 年度で 3 校の中では最も新しい施設で、児童を送迎するにも最も便利な場所に位置しています。また、職員室から校庭及び児童昇降口が見えること、放課後児童クラブが独立していること(プレハブ)等の長所がありました。短所としては、教室が不足していること、敷地内に駐車スペースが少ないこと、低学年用のプールがないこと等が挙げられました。

以上の点を考慮した結果、噴火の際に影響を受ける上長山小学校と建築年度が古い西根小学校よりは、建築年度の一番新しい下長山小学校の校舎を使用するのが有利との結論にいたりました。ただ、教室の増改築は必要であり、また駐車スペースの確保、低学年用のプール対策についても検討を要します。

(御明神地区)

施設の規模及び立地場所を考慮すると、御明神小学校の校舎を使用します。

(御所地区)

耐震強度不足により平成 19 年度に建て替えを実施している安庭小学校の校舎を使用します。ただ、建て替え時点で、体育館（昭和 50 年度建築）には、手を付けておらず、プールの更衣室と合わせて、早急に改築する必要があります。

(4) 配慮すべき事項

スクールバスの運行範囲の見直しを行います。

遠距離通学となる児童へ対応するため、スクールバスの運行拡大を行います。

学校までの距離が何キロ以上をスクールバス乗車の対象とするか、再検討を行います。

夏休み中のプールへの送迎など、長期休業中の学校行事にも配慮した運行とします。

併せて、自転車通学の可否について再検討を行います。

児童を精神的にサポートします。

スクールカウンセラー等により児童を精神的にサポートする体制整備も検討します。

現状と比較し 1 クラス当たりの児童数が増となることから、児童 1 人ひとりへの配慮が必要となります。

統合前には、統合する小学校間で交流を行い、スムーズに統合できるよう配慮します。

児童と地域（旧学区）の結びつきに配慮します。

地域（旧学区）の伝統芸能等に取り組む時間を確保します。

児童が地域（旧学区）で活動する機会を設けます。

使用しなくなった校舎の活用方法を検討します。

使用しなくなった学校施設の有効利用を、町、教育委員会、地域等の意見も聴き、他自治体の例も参考にしながら検討します。

5 . 今後の予定

(1) 小学校区ごとの説明会

平成25年度には、各小学校区で説明会を開催し、皆様方から様々な意見を集めます。

(2) 統合準備委員会

平成26年度には、統合準備委員会を組織し、内容について検討していただきます。統合準備委員会は、現在の小学校ごとに、教員、PTA、地域住民等からメンバーを選抜し、統合小学校ごとに組織していただきます。この組織は、校名、校章、校歌、スクールカラー等を決定することを目的とします。

(3) 教育委員会事務局の役割

教育委員会では、統合時点で必要となる増改築等の検討を行い、予算額を算定します。また、平成26年度からは統合小学校ごとに交流会等を行い、統合した時の児童の負担を少しでも減らせるようにします。平成27年度には、校歌等を変更する場合は変更作業を行い、増改築を行う場合は増改築を行い、準備を完了します。

6. 雫石町小学校適正配置検討委員会名簿

雫石町小学校適正配置検討委員会委員名簿

○知識経験者委員(アドバイザー)

住所(所属)	氏名	ふりがな	性別
岩手大学教育学部附属教育実践センター准教授	立花 正男	たちばな まさお	男
雫石町在住	高橋 繁	たかはし しげる	男

○小学校区PTA代表委員

学校	役職	氏名	ふりがな	性別
雫石小学校	PTA 会長	平子 圭	ひらこ けい	男
七ツ森小学校	PTA 会長	足立 頼子	あだち よりこ	女
上長山小学校	PTA 会長	坂井 和久	さかい かずひさ	男
下長山小学校	PTA 副会長	栗木 将史	くりき まさふみ	男
西根小学校	PTA 会長	櫻田 正行	さくらだ まさゆき	男
御明神小学校	PTA 会長	中南 博	なかみなみ ひろし	男
橋場小学校	PTA 会長	志戸前 正勝	しとまえ まさかつ	男
大村小学校	PTA 会長	村田 賢一	むらた けんいち	男
南畑小学校	PTA 会長	煙山 和彦	けむやま かずひこ	男
安庭小学校	PTA 会長	村田 崇	むらた たかし	男

○学校関係者委員

所属	氏名	ふりがな	性別
雫石町校長会会長 七ツ森小学校長	吉田 敏子	よしだ としこ	女
雫石町副校長会会長 橋場小学校副校長	佐々木 登和子	ささき とわこ	女

○公募委員

住所	氏名	ふりがな	性別
雫石町在住	高橋 與右衛門	たかはし ようえもん	男
雫石町在住	小赤澤 直子	こあかさわ なおこ	女

○事務局

所属	氏名	ふりがな	性別
雫石町教育委員会教育長	吉川 健次	よしかわ けんじ	男
雫石町教育委員会学校教育課長	高橋 啓二	たかはし けいじ	男
雫石町教育委員会学校教育課主査	田辺 茂	たなべ しげる	男
雫石町教育委員会学校教育課主任	坂井 一博	さかい かずひろ	男